

第70回宮城県高等学校総合体育大会弓道競技実施要項

主 催 宮城県高等学校体育連盟 宮城県教育委員会
 共 催 宮城県高等学校文化連盟
 後 援 宮城県体育協会 宮城県高等学校PTA連合会 仙台市教育委員会
 主 管 宮城県高等学校体育連盟弓道専門部

1 期 日

- (1) 開 会 式 6月 5日(土) 中止
 (2) 競 技 6月 5日(土)～6月 7日(月) 3日間
 (3) 閉 会 式 6月 7日(月) 中止 (表彰式は入賞者のみで実施。)

2 会 場

競 技 宮城県弓道場
 〒982-0844 仙台市太白区根岸町 15-1 TEL022-249-1216
 控 え 室 武道館柔道場, 武道館剣道場

3 競技種目

競技の種目, 種別, 種類及び規格は, 次のとおりとする。

- (1) 種 目 近的競技・射道審査
 (2) 種 別 男子の部・女子の部
 (3) 種 類 団体競技・個人競技
 (4) 標 的 木枠の直径36cm震的・直径24cm星的を使用する。
 (5) 競技場 2射場10人立とする。
 射距離は28mとする。

4 競技日程

第1日	時間	競 技 内 容	
6月5日(土)	8 : 20 ～ 9 : 20	各種打ち合わせ (60分)	
※男女それぞれの開始時刻は早めない。	9 : 20 ～ 9 : 40	(20分)	〔準備〕
	9 : 40 ～ 12 : 45	男子団体1次予選 (185分)	2射場立射
	12 : 45 ～ 13 : 05	(20分)	〔準備〕
	13 : 05 ～ 16 : 10	女子団体1次予選 (185分)	2射場立射

第2日	時間	競 技 内 容	
6月6日(日)	8 : 20 ～ 9 : 00	各種打ち合わせ (40分)	
※男女とも1次予選の開始時刻は早めない。それ以降は予定時間のため, 変更の場合もある。放送・掲示などに注意すること。	9 : 00 ～ 9 : 20	(20分)	〔準備〕
	9 : 20 ～ 10 : 40	男子個人1次予選 (80分)	2射場立射
	10 : 40 ～ 12 : 30	女子個人1次予選 (110分)	2射場立射
	12 : 30 ～ 13 : 10	男子個人2次予選 (40分)	2射場立射
	13 : 10 ～ 14 : 00	女子個人2次予選 (50分)	2射場立射
	14 : 00 ～ 14 : 20	(20分)	〔準備〕
	14 : 20 ～ 14 : 50	男子個人準決勝兼射道審査 (30分)	2射場立射
	14 : 50 ～ 15 : 20	女子個人準決勝兼射道審査 (30分)	2射場立射
	15 : 20 ～ 15 : 35	男子個人決勝 (15分)	2射場立射
	15 : 35 ～ 15 : 50	女子個人決勝 (15分)	2射場立射
	15 : 50 ～ 16 : 10	男子個人順位決定戦 (20分)	2射場立射
	16 : 10 ～ 16 : 30	女子個人順位決定戦 (20分)	2射場立射
	16 : 30 ～ 16 : 40	(10分)	〔準備〕
	16 : 40 ～ 17 : 00	個人表彰式 (20分) ※受賞者のみ	

第 3 日	時間	競 技 内 容	
6 月 7 日(月) ※男女とも 2 次予選の開始時刻は早めない。それ以降は予定時間のため、変更の場合もある。放送・掲示などに注意すること。	8 : 20 ~ 9 : 00	各種打ち合わせ (40 分)	
	9 : 00 ~ 9 : 20	(20 分)	[準備]
	9 : 20 ~ 10 : 20	男子団体 2 次予選 (60 分)	2 射場立射
	10 : 20 ~ 11 : 20	女子団体 2 次予選 (60 分)	2 射場立射
	11 : 20 ~ 11 : 40	(20 分)	[準備]
	11 : 40 ~ 12 : 20	男子団体準々決勝兼射道審査 (40 分)	2 射場坐射
	12 : 20 ~ 13 : 00	女子団体準々決勝兼射道審査 (40 分)	2 射場坐射
	13 : 00 ~ 13 : 20	決勝トーナメント進出の同中競射	2 射場坐射
	決勝トーナメントのシードを決定し、公開する。		[弓道場内]
	13 : 20 ~ 13 : 40	休憩 (20 分)	
	13 : 40 ~ 15 : 00	団体決勝トーナメント, 終了後 上部大会進出校決定競射(80 分)	2 射場坐射
	15 : 00 ~ 15 : 15	(15 分)	[準備]
	15 : 15 ~ 15 : 35	団体表彰式 (20 分) ※受賞校のみ	[代表者のみ]

【 公開練習 】 開放しない

【 巻き藁 】 開放しない

5 競技規定

(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(公財)全日本弓道連盟弓道競技規則による。

6 競技方法

(1) 団体競技及び個人競技は、男女とも次のとおり行う。

ア 団体競技

(ア) 予選から決勝は、男女とも各自 4 射、計 20 射とする。

(イ) 1 次予選は、男女とも 7 中以上を通過とする。

(ウ) 2 次予選は、1 次予選との合計 40 射の的中数上位より **8 位タイ** を通過とする。

(エ) 準々決勝は、1 次予選からの合計 60 射の的中数上位より **4 位チーム** を通過とする。同中の際は決勝トーナメント進出のために一人 1 射チーム 5 射ずつの競射を行い、進出チームを決定する。

(オ) 決勝トーナメントに進出したチームが同中の際は抽選でシードを決定する。

(カ) 決勝トーナメントは各自 4 射、計 20 射を行う。同中の際は、一人 1 射チーム 5 射ずつの競射を行い、勝敗を決定する。なお、競射 1 本目は替矢を使用する事とする。

(キ) 三位決定戦は行わず、三位は 2 校とする。

~~(ク) 三位の 2 校で一人 1 射チーム 5 射ずつの競射を行い、上部大会への進出校を決定する。~~

イ 個人競技

(ア) 予選・準決勝・決勝は、いずれも各自 4 射とする。

(イ) 1 次予選は、的中数が **2 中以上** の者を通過とする。

(ウ) 2 次予選は、1 次予選との合計 8 射の的中数が **5 中以上** の者を通過とする。

(エ) 準決勝は、1 次予選からの合計 12 射の的中数 **上位 8 位タイの者** を通過とする。

(オ) 決勝は 4 射行い、1 次予選からの合計 16 射の的中数により順位を決定する。

(カ) 順位決定戦において、1 位及び 2 位が同中の場合は射詰を行う。射詰が 5 射目に入る場合、その矢は替矢を使用する。また、射詰の 5 射目以降は八寸的を用いる。なお、3 位以降の順位は遠近法により決定する。

ウ 団体射道審査

(ア) 審査は準々決勝において行う。

(イ) 最優秀賞は 1 チーム、優秀賞は 2 チーム以内とする。

(ウ) 審査の対象事項は、四つ矢での射技・的中・体配とする。

(エ) 的中は 5 割以上を目安とする。

(オ) 行射は競技の間合いで行うこと。制限時間を超えた場合、行射を止めさせる。その場合は、制限時間を超えたことも審査の対象とする。

エ 個人射道審査

(ア) 審査は準決勝において行う。

(イ) 最優秀賞は 1 名、優秀賞は 3 名以内とする。

(ウ) 審査の対象事項は、四つ矢での射技・的中・体配とする。

(エ) 的中は 5 割以上を目安とする。

(オ) 行射は競技の間合いで行うこと。

(2) 矢返しは四つ矢が終わるごとに行い、1 本ごとの矢返しは行わない。従って同中競射の場合、その 1 本目は、替矢を使用する。

(3) 競技の進行について

- ア 競技は進行係の「はじめ」の号令によって始まり、最後の射手の4射目の離れで終わる。
- イ 立射は、1団体20射の行射制限時間を7分以内とし、6分30秒で予鈴による合図を行う。
坐射は、1団体20射の行射制限時間を8分以内とし、7分30秒で予鈴による合図を行う。
- ウ 弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。
- エ 団体競技の同中競射及び個人競技においては、「会打起し」を原則とする。
- オ 同一射場において前の射手より先に射離した矢は無効とする。

(4) 行射

- ア 個人競技は全日程において立射とする。
団体競技は予選から準々決勝までの行射は立射とし、準決勝以降は坐射とする。
- イ 天候その他不測の事態により坐射が不可能な場合は、立射に変更する場合がある。
- ウ 団体競技及び個人競技は、すべて2射場10人立とする。

(5) 選手の交代

- ア 団体選手の交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。
- イ 団体競技の交代は3回認める。従って、交代した選手の再出場はできる。
- ウ 1回の交代は2名まで認める。
- エ 交代は所定の用紙に記入し、第三控に入る前までに監督(顧問)が届け出ること。
- オ 交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ 個人競技のみに登録された選手の交代は認めない。
- キ 選手交代した際に、ゼッケンを付け替えてはならない。

7 監督(顧問)

監督(顧問)は、校長が認める当該校の職員とする。

8 参加資格

- (1) 選手は、原則として学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、宮城県高等学校体育連盟に加盟し、かつ同弓道専門部に選手登録している生徒であること。
- (3) 年齢は、平成14年4月2日以降に生まれたもので1～3年生。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヵ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生も原則としてこれに準ずる)ただし、一家転住などやむを得ない場合は、宮城県高等学校体育連盟の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

9 参加制限

- (1) 団体競技は女子及び男子各1チームとする。
- (2) 個人競技においては令和3年度予選通過基準(女子、男子とも8射4中以上)を満たした選手とする。
- (3) 団体競技のチーム編成は、監督(顧問)、選手3名以上7名以下とし、先発メンバーは登録順に5名以内とする。
- (4) 個人競技の編成は、監督(顧問)、選手とする。

10 参加申込

- (1) 申込書類については次のいずれかとする。

ア 参加申込フォームを用い、Eメール(添付)にて申込先アドレスに申し込むこと。

※参加申込フォームの入手方法

- 1) 専門部HP (<https://kyudo.web.wox.cc>) よりダウンロードする。
- 2) 申込先アドレスに事前に請求する。

イ Eメール環境が無い場合のみ、参加申込書を郵便にて申し込むこと。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- (2) 申込期限

令和3年5月24日(月) 17:00まで 必着のこと。

- (3) 申込先 〒980-0871 宮城県仙台市青葉区八幡1丁目6番2号

宮城第一高等学校 弓道専門部事務局 山内 勝利

e-mail: yamauchi-ka866@td.myswan.ed.jp

TEL 022-227-3211 FAX 022-227-3213

(4) 参加料納入

1 人 500円

※地区大会にエントリーした選手分を、学校単位で払い込み願います。

(5) 参加料振込先

指定銀行	ゆうちょ銀行
口座番号	02200-9-48265
口座名義	宮城県高体連弓道専門部

令和3年5月24日(月)17:00 まで

1.1 表彰

(1) 団体競技(男子・女子)

ア 優勝 優勝杯・賞状・メダル

イ 2位、3位(2チーム) 賞状

ウ 射道最優秀賞(1チーム) 賞状・メダル

エ 射道優秀賞(2チーム以内) 賞状

(2) 個人競技(男子・女子)

ア 優勝 優勝杯・賞状・メダル

イ 2位～6位 賞状(4, 5, 6位は弓道専門部長名)

ウ 射道最優秀賞(1名) 賞状・メダル

エ 射道優秀賞(3名以内) 賞状

1.2 上部大会への出場要件

(1) 令和3年度全国高等学校総合体育大会弓道競技兼

第66回全国高等学校弓道大会 新潟県上越市

ア 団体競技 男子・女子 1位

イ 個人競技 男子・女子 1・2位の選手

~~(2) 第51回東北高等学校弓道選手権大会 岩手県盛岡市~~

~~ア 団体競技 男子・女子 1位・2位・3位 ← 50回大会(中止)の増枠分をスライド~~

~~イ 個人競技 男子・女子 1位～6位の選手~~

1.3 立順抽選

(1) 日 時 4月15日(木) 14:00～14:30

(2) 場 所 東北歴史博物館(宮城県多賀城市高崎 1-22-1)

(3) 方 法 受付で実施。

(4) その他 ・団体戦か個人戦のどちらか一方の参加でも必ず抽選して下さい。
・団体の抽選結果を個人の立ち順に反映させます。

(5) 報 告 立順の抽選結果は、当日仮のものを掲示し、参加申込終了後速やかに各地区常任委員より連絡します。また、同様のものを事務局HPにも掲載します。

1.4 諸会議

会 議 名	日 時	場 所
主任打合せ・監督(顧問)	6月5日(土) 8:20～9:20	宮城県弓道場
打合せ・競技役員打合せ	6月6日(日) 8:20～9:00	
	6月7日(月) 8:20～9:00	

※最初に主任打合せを行います。(10～15分程度)

1.5 競技規則など

(1) 出場選手は、四つ矢の他に筈打ち、筈割れ、競射の場合に使用する替矢を持参すること。

(2) 以下の場合監督(顧問)は役員打合せ前に「取矢免除・坐射免除・欠場など申請書」を競技委員長に提出し、許可を得ること(提出が無い場合は失格となる場合がある)。

ア 取矢ができない場合

イ 坐射での行射が困難で立射を希望する場合

ウ 欠場の場合

(3) 競技の服装(選手)は、次のとおりとする。

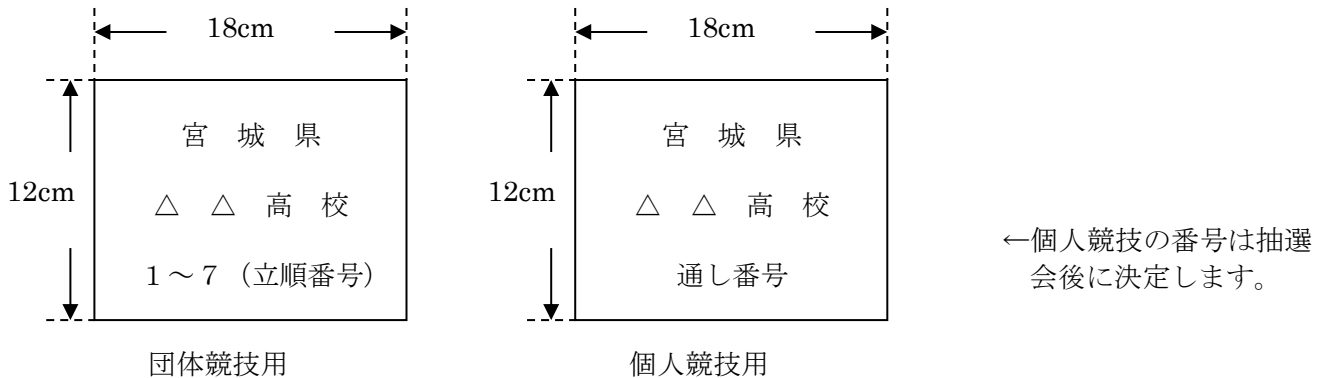
ア 選手

- (ア)弓道衣は白、袴は黒または紺の無地とし、白足袋を着用のこと。
- (イ)弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地とする。ハイネックは不可。
- (ウ)鉢巻を使用する場合は、無地で肩の長さまでとする。なお、校名・校章・氏名に限り入れてもよい。
- (エ)リボン・ピアス等の装身具類は着用しないこと。

イ 介添え

服装に注意し品位を保つこと。

- (4) 選手は、次の要領でゼッケンを作成し、右腰前につけること。
 - ア 布地は白色。県名、学校名は黒色。男子選手番号は黒色で、女子選手番号は赤色で記入する。
 - イ 選手番号は、団体競技登録選手についてはチーム内立順番号(1～7まで)、個人競技登録選手については抽選会後に確定する通し番号とする。
 - ウ ゼッケンは、安全ピンで2ヶ所留める。紐で留めてもよい。
 - エ 規格および記載例(「県」の文字及び「高校」の文字は、なくてもよい。)



- (5) 招集及び弓具等の点検

第3控において選手の確認、ゼッケンおよび弓具・服装の点検を行う。また、第3控から第2控に移動する際にいない選手はその立に限り失格とする。
- (6) 全日程において、無観客試合のため応援の発声や拍手は禁止とする。
- (7) 射場内心得
 - ア 選手
 - (ア)第3控以降、認められた弓具類以外のものを持ち込まないこと。
 - (イ)射場内での掛け声や助言は禁止する(失格の場合もある)。
 - (ウ)行射の妨げとなるような射場出入り口での掛け声などは禁止する(失格の場合もある)。
 - (エ)行射終了後は廊下などで立ち止まらずに速やかに道場の外に移動すること。
 - (オ)止め具を使って弾の紐を留めることは禁止する。
 - (カ)現在の規則により、左手親指のつけ根を保護するもののみ使用可。
 - (キ)選手は、射場への入場直前までマスクを着用し、入場前に自分の上着ポケットまたは懐にいれる。介添えに渡すことはしない。
 - (ク)第一から第三までの控えには椅子を置かず、選手は定められた位置に立ったまま待機すること。
 - (ケ)選手は自分の立ち順に合わせて会場入りし、終了次第会場にとどまらず極力解散すること。ただし競技運営上、補助員としての仕事がある場合はその限りでは無い。
 - イ 介添え
 - (ア)本来の監督業務を生徒が行うので、事前に業務内容を確認すること(弦切れ処理、替矢の受渡しなど)。
 - (イ)個人競技において、介添えは一校一人を原則とする。
 - (ウ)個人競技において、選手が複数名いて射場をまたぐ時、各射場に一人ずつ介添えを付けるかどうかの判断は顧問に委ねる。ただし、選手一人に介添え一名を付けることは認めない。
 - ウ 監督(顧問)

生徒(選手を含む)が介添えを行うことができない場合は、「顧問介添え要望書」を競技委員長に提出すること。なお、決勝においては、提出および許可が無くとも行うことができる。
 - エ その他

道場に入場することができるのは、競技に出場する選手と介添え1名までとする。

16 連絡事項

- (1) 前回、団体・個人優勝校は優勝杯を持参すること。(17 その他 参照)
- (2) 控え室については、補助員を含め、女子は県武道館3F剣道場、男子は1F柔道場とする。
参加校は、【控室利用方法】に従って利用するとともに、飛沫防止や3密の回避につとめること。
また、汚さないために次のものを用意すること。
ア シート
イ ゴミ袋(ゴミは全て各校、各自持ち帰ること)
ウ ビニール袋(靴用・人数分)
- (3) 靴を間違えて履いて帰る生徒が例年出ているため、自分の靴の管理にも注意すること。
- (4) 今大会は全ての日程を「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」に則り実施する。
- (5) エントリー段階で、顧問・選手・補助員は県高校総体に関する「事前確認書」を提出すること。
- (6) 大会への参加者(選手・監督・競技役員・競技補助員等)は全員入力フォームによる「健康観察報告」をすること。(QRコードの読み取りによりフォームが開きます。)
- (7) 今大会への来場者は原則、各校の登録選手+介添え1名+競技運営補助員に限る。
- (8) 全日程において、保護者・同級生・卒業生の来場は禁止し、無観客試合とする。
- (9) 競技役員は選手が解散した後も大会運営に協力してもらう。なお、バスでの引率など時間に制約がある場合は、各競技役員内の時間の割り振りで対応してもらう。

17 式典関係

優勝杯返還	男子団体	東北学院 高等学校
	女子団体	仙台第一 高等学校
	男子個人	秋山 岳杜 選手(東北学院高等学校)
	女子個人	千葉 晴香 選手(石巻好文館高等学校)

表彰式次第

式次第

選手・役員整列

- 1 開式通告 (放送係が行う)
 - 2 成績発表 委員長 千葉 和史
 - 3 表 彰 ①個人入賞選手 ②射道優秀選手
③団体入賞校 ④射道優秀校
 - 4 大会会長挨拶 会 長 庄子英利
 - 5 事務連絡 事務局 山内 勝利
 - 6 閉会宣言 委員長 千葉 和史
 - 7 閉式通告 (放送係が行う)
- 役員・選手退場